

し去勢する爲に、第六十三臨時議會において百五十萬圓の「地方改善緊急施設費」を可決した。ブルジョア地主政府のこの反革命對策は、反動緩和團體によつて「部落經濟自力更生運動」として實踐者に導かれ、部落内の小ブルジョア（有力者）水平運動の強制運動等の協力の下に部落勤勞大衆を反動軍に編成せん爲と企てある。

部落民委員會活動はこの反動政策と全面的に對立させ部落經濟更生運動の狀態の正体を暴露し、部落勤勞大衆の文化的、經濟的施設獲得の要求を組織して闘争を激成するための部落内活動として捲き起されればならぬ。部落民委員會活動は當面大に擡げたる部落勤勞大衆の自衛欲を取り上げ、それを封建的身分制度上へのスローガンに結びつけて戦はねばならぬ。

- (一) 欺瞞的部落改善施設及融和運動による××中心主義的反動黨教化絶對反對！
- (二) ブルジョア地主政府全額負擔による共同浴場、集會所、托兒所、哺育所等の設置とその管理權の獲得。
- (三) トラホーム治療所、無料診療所、産院等の衛生的施設の管完備。
- (四) 生業資金、低利資金等の無條件即時貸與公營質屋、公營住宅等の新設増設とその管理權の獲得。
- (五) 道路、河川、橋梁、上下水道、不良住宅等の改修改善の即時實施とその事業主による失業者の救済。